

## 地下水保全活動報告書（記入例）

※記載以外にも対象となる取り組み事例については、一覧を参照ください。

記入日                      年                      月                      日

企業・団体名	担当者	連絡先電話番号

活 動 項 目	記入欄（該当に○を付け、下に具体的な内容をご記入ください）					
<b>1 くまもと育水会</b>	<b>10 / 125</b>					
くまもと育水会の会員である	非会員	会員	/			
<b>2 地下水保全の啓発活動</b>	<b>30 / 125</b>					
住民への啓発	実施回数 (前年度)	年1回	年2回以上	年4回以上	年6回以上	年12回以上
	継続年数	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上
	目的・内容 (開始時期) 成果 特徴・工夫	【目的】若い世代への啓発【内容】ナイストライ・インターンシップ等の受入時に地下水保全の教育を実施。【開始時期】平成26年度【成果】R2年度2回：ナイストライ2名、インターンシップ2名に実施し感想文により効果を確認。【特徴・工夫】教育用の映像資料や工場に地下水保全パネルを作成し、事業所や工場の保全設備等の見学と合わせて重要性を伝えている。 ※別紙の教育資料・写真参照				
社員への啓発	実施回数 (前年度)	年1回	年2回以上	年4回以上	年6回以上	年12回以上
	継続年数	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上
	目的・内容 (開始時期) 成果 特徴・工夫	①【目的】水環境改善の実地研修【内容】〇〇主催の江津湖清掃ボランティアに参加【開始時期】平成29年度【成果】R2年度1回：交代制で社員50名中20名が参加し、水環境改善の意識が向上している【特徴・工夫】継続することを優先しているため、他団体が主催のため参加しやすく、無理なく継続し、多くの社員が参加できている。 ②【目的】計画的な地下水保全【内容】環境・節水委員会の開催【開始時期】平成18年度【成果】R2年度5回、取水量：活動前比：40%削減【特徴・工夫】各課から2名ずつ出席し、目標値を全社で共有し取水量削減を実施。 ※別紙の教育資料・写真参照				
<b>3 水活動（地下水量保全に関する取組み）</b>	<b>45 / 125</b>					
浸透施設の設置・管理	実施の有無	行っていない		行っている		/
	内容 基数 面積	雨水浸透枳：4基                      駐車場の透水性舗装：300㎡ 緑地化：500㎡                      ※別紙資料・写真参照				

■継続年数についての考え方 ・止むを得ない理由で中断があった年は除く。

【カウントの仕方】例：社員への啓発活動 2015年、2017年、2018年、2019年、2020年の場合は5年と数える

啓発の活動例	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	継続年数
研 修 イ ベ ン ト 節 水 教 育 ボ ラ ン テ ィ ア	○	熊本地震の 影響で中断	○	○	○	○	中断年度を除 き、社員への啓 発活動を5年と 数える

### 地下水保全活動報告書（記入例）

活動項目		記入欄（該当に○を付け、下に具体的な内容をご記入ください）				
<b>3 育水活動（地下水量保全に関する取組み）※活動の具体的内容、取組み状況の写真を別紙に記載してください。</b>						
地下水かん養の取組みの実施状況	実施項目数（前年度）	1項目	2項目	3項目	4項目	5項目以上
	継続年数	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上
	内容 開始時期 実績 (面積・数値 人数)	①地下水かん養米の購入。社員にかん養米の意義を伝え、購入・消費することでかん養に貢献。【開始時期】平成25年度【実績】R2年度：かん養米80kg購入。 ②水田オーナー制度への参加【開始時期】平成30年度【実績】R2年度：契約面積450㎡、田植え40名、稲刈り40名参加。 ※別紙資料・写真参照				
<b>4 節水活動 20 / 125</b>						
節水活動の実施	実施の有無	行っていない	行っている			
	内容 実績 (設置数・削減量)	①節水トイレ、擬音装置、センサー式水栓の設置。工場排水を再生水として再利用。【実績】平成30年度設置。設置前との比較：事業所生活用水を100㎡/年削減。工場用水再利用の循環率40% ②量水器の設置による地下水取水量の管理と節水の啓発。令和元年度設置し、節水シールやポスターで啓発している。【実績】設置前との比較：工業用水を500㎡/年削減。 ※別紙資料・写真参照				
雨水利用	実施の有無	行っていない	行っている			
	内容 実績 (設置数・節水率)	①雨水貯留タンクの設置を設置し、工具の洗浄に使用している。熊本地震の際にも活用できたので、顧客にも設置の推進を行っている。【実績】事務所に200ℓ1基、工場に200ℓ1基を平成30年度に設置 ②中水道としてトイレ用水に再利用している。【実績】令和2年度設置。節水率27.7% ※別紙資料・写真参照				
<b>5 水質保全活動（地下水質保全に関する取組み） 10 / 125</b>						
水質保全活動	実施項目数	1項目	2項目	3項目	4項目	5項目以上
	継続年数	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上
	内容 開始時期 実績 (数値)	くまもとグリーン農業農産物の販売や応援キャンペーンでの消費推進による適正施肥への貢献。平成21年開始。【開始時期】平成25年度【実績】令和2年度販売数（消費の場合は購入数）：○○個 ※別紙資料・写真参照				
<b>6 その他（具体的取組み内容をご記載ください。別紙にも記載可能です。） 10 / 125</b>						
独自での地下水保全活動に顕彰委員会より点数加算（最高10点加算）	内容 開始時期 実績 (数値)	①「水」検定の受験を毎年推奨。【実績】令和2年度は水検定1級に2名が合格。水検定1級取得職員 累計10名。住民への啓発業務に取得知識を活用している。 ②災害時等に井戸水を利用できる準備がある。【実績】熊本地震の際、自社の井戸を生活用水として地域住民に無償提供。災害時にも地下水ができたことから地下水の重要性を再認識してもらえた。 ※別紙資料・写真参照				

※各活動の取組み状況がわかる資料（報告書、ホームページ・広報記事、写真等）を別紙に記載・添付して下さい。

合計	
----	--

■継続年数についての考え方 ・止むを得ない理由で中断があった年は除く。

【カウントの仕方】例：社員への啓発活動 2015年、2017年、2018年、2019年、2020年の場合は5年と数える

啓発の活動例	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	継続年数
研修 イベント 節水教育 ボランティア	○	熊本地震の影響で中断	○	○	○	○	中断年度を除き、社員への啓発活動を5年と数える